

しかし、追い詰められて逆にかつ切れたか立ち合いから往年の鋭い出足を見せ、水晶嶽を一気に寄り切った。続く九日目は若ノ嶋との横綱対決。激しい攻防の末、見事若ノ嶋を寄り切った。あと二勝勝ち越しも見えてきた。(英)



鞍ノ城○(寄り切り)●若ノ嶋

十両は鳥海、綱嵐、寶蔵
九日目を終えて、優勝争いは2敗の鳥海波、綱嵐、寶蔵の3人がトップに立った。これを3敗で生駒山、天我、電幕、葵盛、若巨、櫻吹雪の6人が追う展開となった。

七日目まで全勝だった寶蔵は八日目に綱嵐に押し出され、九日目は電幕の上手投げに敗れてまさかの連敗。全勝で走るのかと思われたが、連敗によって優勝争いは混戦となった。



綱嵐○(押し出し)●寶蔵



電幕○(上手投げ)●寶蔵

鳥海波は七日目に優勝争いの直接対決となった。宝蔵戦に敗れて、再び優勝争いのトップに立つべく新入幕と優勝を目指す残り2日間となる。

序盤の2敗で優勝争い候補の話から外れてきた綱嵐だが、四日間の連続勝利の間に、砂部屋から幕内力士が精進して早く幕へ上がれ!と友砂親方から発破を掛けられて奮起



綱嵐○(寄り切り)●生駒山

したようだ。親方の期待に応えるためにも残り2日連続していい報告をしたいところだろう。

今場所好調で「優勝は九十九部屋だろう!」と誰しもが予想する中、寶蔵が7勝、生駒山と葵盛が6勝3敗とすでに勝ち越し、日向藤も5勝4敗と勝ち越しまであと1つと連戦連勝とはいかなかったが順調に白星を積み重ねている。予想通り九十九部屋が優勝を勝ち取るのか、それともそれ以外の部屋が予想に反して奮起するのか、千秋楽が待ち望まれる。

理事長部屋の名門友砂部屋から幕内力士が相撲で紙相撲ファンの歓声が一番多いのが西筆頭の黒船。「黒船! 頑張れ!」と連日声援が飛んでいるが、中五敗を終えた時点で1勝5敗と一場所での返り入幕に赤信号が灯り追い込まれた黒船。しかし、七日目に伊達の富士に押し倒して勝って覚醒したか、4勝5敗まで戻した可能性を残して2日間に全力を傾注する。友砂理事長がどうにも注目を集めようだ。(錦風)

四日目を終えて、播磨屋部屋の龍不動と春日根部屋の西磯野が4連勝と賭けて対戦することになった。

幕下は播磨屋封春日根
龍不動は4勝として新十両を確実にした。播磨屋部屋の龍乃島以来の1勝4回の龍乃島は1勝4回の鹿乃砲との一

四日目を終えて、播磨屋部屋の龍不動と春日根部屋の西磯野が4連勝と賭けて対戦することになった。

一番も鋭い出足で圧倒し、来場所以降が楽しみな新鋭だ。千秋楽に勝って故郷の松山に錦を飾りたいだろう。

一方、西磯野は一刻も早い関取誕生を願う春日根親方の秘蔵っ子。今場所は部屋頭の西勢ノ里に期待がかかったが、ここまで2勝2敗。最短で関取誕生を目指す春日根部屋で負け指しは許されない。千秋楽は2人も白星で来場所は幕下上位で新十両を狙いたいところ。

来場所の十両昇進候補は龍不動のほか、東筆頭の桂が勝ち越して新十両を確実にした。それ以外は十両からの陥落数にも拠るが、幕下上位陣にとって千秋楽の一番の勝負が大事となる。(錦風)

三段目、序の口
三段目は先場所西三枚半で勝ち越したものが半数だった。宇治家が花吹雪を破り4連勝。上位勢の成績にも依るが、来場所の昇進はほぼ確実なものとした。対するは勝間田部屋の鉄ノ里。ここまで育成会通算5場所目で13勝12敗と平凡な成績なのだが、今場所はどうかと相撲をみせている。西渡海相手にも臆することなく前に出る取り口で退けた。

千秋楽は宇治家との一騎打ちになるが、十九、春日根勢の牙城に割って入り久々の優勝を手に入ることが出来るか、結果は果たして。磯蜜が東筆頭で勝ち越しを決め一場所での復帰を決めた。

序の口は、櫻櫻が一人全勝をキープ。事実上の優勝決定戦かと予想された西旭との一番櫻を寄り切りで制した響はこれで優勝をかなり手繰り寄せた模様。強烈な右からの攻めで相手に相撲を取らせな感じだ。一門で同タイプの逆登も一敗で追う。決定戦になれば再度桃山勢も見られそう。他に桃薩摩と桃玄葉の対戦も見られそう。他に桃薩摩と桃玄葉の対戦も見られそう。他に桃薩摩と桃玄葉の対戦も見られそう。



鹿雲山●(寄り切り)○西磯野

三段目、序の口



大碧輝●(押し倒し)○黒船



剣灘●(押し倒し)○黒船



鉄ノ里○(押し倒し)●西渡海



宇治家○(寄り切り)●英吹雪

上位では他に二枚目の英前田が3勝目をあげたがもう一番白星を上積みして昇進を確実にしておきたい。

序二段は四日目を終えて西神門がただ一人全勝。初土俵から2場所所で三段目上がったが、よもやの序二段陥落。若今津との3連勝同士の対戦となったが押し倒して4連勝。前に出ながらの右攻めが奏功している。今場所の序二段には春日根部屋からもう一人出た部屋からもう一人出た強さを見せて二人で優勝争いを引っ張るかと思われたが、若武田のうまい攻めに屈し一敗に後退。これで一敗勢は若今津、暫、磐若、英ノ心、赤安と西の富士、若武田の7人となった。千秋楽西神門の結果次第では最大5人での決定戦も予想される。今場所も混戦である。

序の口は、響櫻が一人全勝をキープ。事実上の優勝決定戦かと予想された西旭との一番櫻を寄り切りで制した響はこれで優勝をかなり手繰り寄せた模様。強烈な右からの攻めで相手に相撲を取らせな感じだ。一門で同タイプの逆登も一敗で追う。決定戦になれば再度桃山勢も見られそう。他に桃薩摩と桃玄葉の対戦も見られそう。他に桃薩摩と桃玄葉の対戦も見られそう。

毎場所凝った四股名で親方衆を唸らせる播磨屋部屋の力士。今場所は大水蛇。黒天狐、紫炎蝶ともになかなかの名前だったが惜しくも廃業に。2連勝発進した大水蛇には何とか千秋楽勝って生き残ってほしいところだ。場所前の調整不足の影響からか香具山部屋の大谷が4連敗で千秋楽を前に廃業が決ってしまった。(勝間田)

序の口は、響櫻が一人全勝をキープ。事実上の優勝決定戦かと予想された西旭との一番櫻を寄り切りで制した響はこれで優勝をかなり手繰り寄せた模様。強烈な右からの攻めで相手に相撲を取らせな感じだ。一門で同タイプの逆登も一敗で追う。決定戦になれば再度桃山勢も見られそう。他に桃薩摩と桃玄葉の対戦も見られそう。他に桃薩摩と桃玄葉の対戦も見られそう。



西神門○(押し倒し)●若今津



響櫻○(寄り切り)●西旭